

【団体名】 緑のDNAバンク

【事業名】 ふるさと純度 100%の森づくり

【事業の目的】 かつて安城洪積台地には、ふるさとの森が存在していました。今その森は開発により、消えかかっています。安城市内に辛うじて残っている推定 100 本の原始植生の木々は常に絶滅の危機にさらされ、毎年その多くが市民にも気付かれないまま姿を消しています。私達は、ふるさと木ので安城に森を再生し、安城に生まれ未来に生きる子供たちに残したいと考え、ふるさと純度 100%の森づくり計画をスタートさせました。

【実施内容】

- ①安城市（特に東端町・根崎町・城ヶ入町）にかろうじて残っている原始植生の調査を完了した。将来安城に残すべき原始植生に近いと思われる親の木リストを作成した。
- ②原始植生のDNAを 100%受け継ぐ挿し木でのクローン苗木育成の実験に成功した。油ヶ淵水辺公園に植樹をする全ての苗木の目標数の 2 倍に当たる種を全て親の木を識別出きる状態で集めました。
- ③安城市本来の原始植生の森を見分けるインストラクターを養成する教育セミナーを実施。
- ④実際にボランティアメンバーを募り、採種を行う事で原始植生の木の種を間違えずに採取出きる「種の人」を養成した。
- ⑤県営油ヶ淵水辺公園に植樹するために必要な数の苗木の育成をスタートさせた。



【成果・課題】

将来安城市に残すべき原始植生のDNAを受け継ぐ苗木を公園に残すための準備がほぼ完璧に整った事が最大の成果と言えます。今後も全力でこの活動を続けていきたい。この活動をいかにして次世代に繋いでいくかが今後の課題です。